

偶数月に掲載



図書室発 → あなた行き 中央公民館図書室だよ

～図書室利用のためのお役立ち情報～ 背表紙のラベルは本の住所！



← 分類番号（本の種類を示す番号）

← 図書記号（著者の名前の頭文字など）

← 巻冊番号（シリーズの発行順）

図書館や図書室の貸出用資料に、上記イラストのようなラベルが貼られているのをご存知でしょうか？
この「背ラベル」に書かれている情報は、本の置き場所を示す“住所”のようなもので、たくさんの資料を管理するうえで実はとても大切な情報です。

公民館図書室では3段ラベルを使用していて、上段には本の種類を示す「分類番号」、中段には著者の名前の最初の2文字（「図書記号」といい、図書館によっては本のタイトルの最初の文字が書かれてあります）、下段にはシリーズの番号を示す「巻冊番号」を記しています。

資料の分類は、「日本十進分類法」という統一の分類方法があり、全国の多くの図書館や図書室がこの方法になっています。ただ、利便性などを考慮し、独自の分類を用いることもできます。公民館図書室では、背ラベルの例外として「絵本」の分類記号を「E」とし、「日本の絵本」「季節の絵本」など種別ごとにラベルの色を分ける方法を取り入れています。

新刊情報

（6・7月の新刊）

◎おやごころ 畠中 恵
◎妄想radio 桜木 紫乃
◎墨のゆらめき 三浦しをん
◎北のおくりもの 北海道アソソロジー 浅田次郎 外
◎北海道の図書館員が薦めるブックガイド

◎鈍色幻視行 恩田 陸
◎ヨモツイクサ 知念実希人
◎とりどりみどり 西條 奈加
◎老いとお金 群 ようこ
◎ぼけ日和 矢部 太郎